

令和2年度鳴門教育大学教員免許状更新講習概要

選択領域

講習の区分	受講者が任意に選択して受講する領域
講習の名称	【選択】知っておきたい子どもの「作文力」発達系統
受講者定員	20人
受講対象者	小学校教諭, 中学校(国語)教諭, 高等学校(国語)教諭
開設日	令和2年7月30日(木)
講習の形態	主として講義
講習時間	6時間
講習会場	鳴門教育大学(徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地)
担当講師	村井 万里子
受講料	6,000円

講習の内容	<p>本講座は、子供の作文が発達に従ってどう変化するかを学び、教師(おとな)として「作文を読む力」を演習することを目的とします。</p> <p>①子供の作文が小学校の「文字入門期」から10歳の節目に相当する4年生まで、どのように発達するかを知る。 *学習指導要領・国語科教科書の「作文」教材では、「発達を捉える」ことは非常に困難です。</p> <p>②「作文解釈」の基本的知識を学び、方法を演習する。</p> <p>③小学校入門期から卒業までの作文力発達原理は、中学3年間または中高6年間、さらに大人の新分野技能習熟の原理に共通する。</p>
講習のねらい	<p>1. 子供の発達のすがたを、作文(文章表現力)をとおして具体的に把握する。</p> <p>2. 入門期・低学年・9歳の節目の変化に理解を深め、児童把握の拠点をつくる。</p> <p>3. 作文解釈の難所・面白さ・深さをつかむ。</p>
講習到達目標	<p>次の事項について、演習を通して理解し、内容を説明し、応用することができる。</p> <p>①小学校6年間の子供の発達のすじみちを、作文を通して説明できる。</p> <p>②入門期の「文字の壁」の実態をつかみ、子供の表現を価値付けることができる。</p> <p>③2～3年生の作文の特徴を知り、納得し、説明することができる。</p> <p>④4年生(9歳の節目)の「作文の変化の核心」をつかみ、説明することができる。</p> <p>⑤教科書等による「陶冶」と、発達に応じて育てる「訓育」の使い分けの必要性を知り、後者について具体的な方策を考案することができる。</p>
講習スケジュール	<p>令和2年7月30日(木)</p> <p>8時55分～ 9時00分 オリエンテーション</p> <p>9時00分～10時30分 講義</p> <p>10時40分～12時10分 講義</p> <p>12時10分～13時00分 昼食休憩</p> <p>13時00分～14時30分 講義</p> <p>14時40分～16時10分 講義</p> <p>16時15分～16時25分 試験問題/アンケート用紙 配付・説明</p> <p>16時25分～17時05分 履修認定試験</p> <p>17時05分～17時15分 試験問題/アンケート用紙 回収</p>
履修認定試験の方法	筆記試験
成績評価	<p>成績評価は、講習の担当者が作成した試験の成績から判断します。</p> <p>履修認定試験の結果、受講者の理解が到達目標に達したと認める場合は成績審査に合格した者としてますが、その際の評価は60点以上の採点をもって行います。</p>
持参するもの	<p>児童の日記や作文(小1～6)のうち「読みとり方で迷う」ものがあれば、学年・記述時期入りコピーをご持参ください。(1編以内。ゼロでも可)。</p> <p>講義は「典型的な発達特徴を示す作文例」(講師用意)を用いて行います。</p>
台風接近等に伴う休講の振替日	令和2年8月7日(金)
その他	受講申込みについては、「募集要項」を参照してください。